

女性起業支援事業【山梨県甲府市】

総事業費	1,263 千円
交付金額	630 千円

地域の実情と課題

女性が起業に至らない理由

- ⇒ 経営に関する知識・ノウハウ不足
- ⇒ 事業に必要な専門知識・ノウハウ不足
- ⇒ 開業資金の調達

目的・目標

何かをはじめたいがはじめられない女性に対し

- ・それぞれが抱える情報や課題を共有する女性達のコミュニティを拡大
- ・自分の目指す方向を再認識できるようにする
- ⇒ 起業等の確率を高めていく(目標値:セミナー受講者及び起業者数の増加)

事業の特徴

女性達を長期的に見守りながら個々を育てることに重点を置き毎月1回のスクール形式のセミナーやワークショップに加え、参加者の状況に応じた個別相談会を開催する。

連携団体

- ・甲府市男女共同参画推進委員会
- ・自治会
- ・甲府市男女共同参画審議会の委員所属機関である大学関係
- ・女性活躍に関わるNPO団体
- ・支援機関(商工会議所、産業支援機構、金融機関等) 等

事業の効果

プログラムの受講前と後にアンケートを取り、プログラム全般を受けての変化を調査・分析した。また、セミナー全終了後に、参加者全員を対象とした個別相談の機会を設け、参加者1人ひとりに対しての時間を取り、対面での相談を行ったが、個々の起業等の進行状況や、悩み、学びたいこと等を把握でき、解決すべき課題や、起業等に向けて、さらに学びたいテーマ等が洗い出されることで、着実に起業等に確実に繋げるための方向性を確立することができた。

- ・受講者数39人(アウトプット)
- ・起業者数4人(アウトカム)

今後の課題

年度でのプログラムが終了しても、伴走して支援が出来るよう、プログラム開催時だけでなく、女性が起業等の悩みや相談を受けられる場所及び体制を構築することが必要と考える。

現在のプログラムを、参加者に合わせて変化させながら継続していくとともに、新たな学びやネットワークを確立し、起業等への知識や経験をさらに積むことができる、段階的なプログラムも確立していくことが必要となる。

事業の概要

女性起業支援事業

令和4年度は女性達を長期的に見守りながら個々を育てることに重点を置き、毎月1回のスクール形式のセミナーやワークショップに加え、参加者の状況に応じた個別相談会を開催するプログラム構成とした。

プログラムは、新規受講者だけでなく、これまで2年間のセミナー受講者(以下「既受講者」)も加え、グループごとにそれぞれの課題や学びたい事などを洗い出すなど、これまでの受講者と既受講者の交流を深めながら、自主性を持たせる内容に重きを置いた。

セミナーに加え、本格的に活動している先輩起業者の現場見学会や、個別相談も行い、既受講者も新規受講者にも新たな学びや細やかな支援が受けられるような内容とした。新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、セミナーや見学会をオンライン開催としたり、少人数での個別見学会へと変更し、参加者が参加しやすいような配慮を行った。

また、2年間の実績に基づいて作成した、自分のやりたいをまとめることができる起業等支援ノート「Can-Pass(キャン・パス)ノート」も活用し、セミナー等が無い時間も、自分の夢に向かうモチベーションを高められるよう、個別相談にも活用した。

その他、支援側としては、金融機関等の支援機関と積極的に繋がる機会を設け、プログラムが終了しても、受講者の状況や課題に対し、相談に応じられるような関係性を構築するため、交流会を開催した。